

平成13年度第1回熊本県環境影響評価審査会 議 事 概 要

日時：平成13年4月6日（金）午後1時30分～午後2時30分

場所：グラウンド肥後 「阿蘇」

出席者

環境影響評価審査会：今江会長、内山委員、甲元委員、鈴木委員、園田委員、西岡委員、林委員、弘田委員、藤木委員、堀委員、村田委員
以上11名

事務局：環境政策課5名（古庄、真田、増田、矢野、藤山）

アセス実施者：熊本県都市計画課 古賀主幹、平山主任技師

事業者：熊本県新幹線都市整備総室 北村参事

熊本県熊本駅周辺整備事務所 本田主幹、笹路参事、沼地参事、鐵谷主任技師、内村主任主事

議題

熊本都市計画都市高速鉄道九州旅客鉄道鹿児島本線・豊肥本線事業に係る環境影響評価方法書について

議事内容

- 1 挨拶
- 2 事業及び環境アセスメントの概要について
- 3 審査会意見（案）について
（別紙審査会意見（案））
- 4 主な質疑内容
次ページ以降のとおり
- 5 その他
次回の審査会の日程調整

配付資料

- 1 会議次第
- 2 熊本都市計画都市高速鉄道九州旅客鉄道鹿児島本線・豊肥本線 環境影響評価方法書
- 3 同上に対する熊本県環境影響評価審査会意見（案）
- 4 同上事業に係るパンフレット及び事業概要
- 5 同上に対する県関係課意見、熊本市意見及び住民意見の概要

[主な質疑内容]

審査会意見（案）に関する事項

1 騒音・振動

特になし

2 水象

特になし

3 地下水

【委員発言 1：工事中にどういった排水が一番出るのか。】

【委員発言 2：詳細が未定としても、もしアルカリ排水が出る場合は中和を行う必要がある。】

【委員発言 3：この事業に伴う地下水・表流水に対する影響の検討については、新幹線のときのデータが利用できることとなる。両者の影響の複合化ということも起こり得るため、十分配慮する必要がある。】

【委員発言 4：新幹線で前に分かったことを参考にするため、連絡を取り合って欲しい。今回のように長く重い橋ができる事業は、本審査会としても初めてであるが、マイナスができるだけないように準備書への作業で検討をお願いしたい。】

4 地形・地質

特になし

5 動物・植物

【委員発言 5：特別なものがいなくても、普通の生物で何がいるかを把握することは大切なことである。そこにいる動植物の実態が把握されていなければ、次の生態系のことが考えられなくなる。普通の生物についても、気を配る必要がある。】

6 生態系

【委員発言 6：生態系についても新幹線と複合的な影響を考えるべきではないか。「その他」の項目にでも複合的な影響に留意するべきと加えてはどうか。】

7 景観

【委員発言 7：少し誤解を招くおそれがあるので、意見の表現を少し変えたい。調査地点の選定について、同種の景観の構造のところを重複して選定しても意味がないので、「地域の景観の特徴を類型化したうえでばらつきがないように配慮する」という文言を「地域の景観構造を類型化したうえで見落としのないように配慮する」と変えた方がよい。】

【委員発言 8：^{しい}囀景観という用語を審査会意見に使用することについて、これでよいか。環境省が使用している言葉だが、県民に見せる場合に分かりにくい言葉だ。】

8 人と自然との触れ合いの活動の場

特になし

9 文化財

【委員発言9：補足説明させてもらおうと、熊本市が文化財として登録している近世のものは寺社仏閣だけである。江戸時代の町屋、武家屋敷の取扱いについても県文化課、市の文化財課と協議してもらいたい。 は工事の振動がどのように影響するのかということ。また、高架構造物が出現し、風の通り道が変化することにより台風等の強風の場合にどのような影響が生じるのかを検討する必要があるのではないか。】

(新幹線との複合影響と高架構造物による風の影響に留意すべき旨を「その他」の項目に追加することとなる。)